

# 令和8年度 学校評価計画書

学校名

三田市立藍中学校

## 1 学校教育目標

「夢や希望を抱き 心豊かにたくましく 共に生きる生徒」の育成  
～ウェルビーイングを実現する学校を目指す～

## 2 今年度の学校重点目標

- (1) 人権尊重の精神を徹底し、教職員自らが人権感覚を磨きながら、命と人権を大切にしてお互いの痛みに寄り添って行動できる生徒を育成する。
- (2) 特別支援教育を学校づくりの根幹に据え、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を整え、誰もが大切にされる学校を実現する。特に、生徒への声掛けは丁寧に行う。
- (3) 生徒の学習意欲を高めるために「めあて」や「ふりかえり」を明確にして分かる授業を確立するとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを進める。
- (4) 生徒指導体制の充実と不登校を含む教育的課題への的確な対応を図るため、アンケートや教育相談に加えて日常的に生徒の様子を観察し、悩みやいじめ、問題行動等の早期発見・早期対応に努め、安心して学べる環境づくりを進める。
- (5) 学校全体の危機管理意識を高め、地域の信頼に応える安全・安心な学校づくりを進める。
- (6) 勤務時間の適正化とハラスメントのない職場づくりを進め、風通しの良い働きやすい職場環境の整備を行う。

## 3 自己評価項目

分野・領域	評価項目（取組内容）
教育課程 学習指導	小中連携の充実を図り、家庭学習に関わる共通実践を進めるとともに、教育研修を進め、教員の資質・授業力向上。
	「朝の学習タイム」「ひょうごがんばり学びタイム」と連携し、基礎学力の定着と家庭での学習習慣の定着に努める。
生徒指導 いじめ防止	本校「いじめ防止対策基本方針」の見直しに基づき、いじめ問題に対して、迅速かつ組織的に対応する。
	教育相談の充実を図り、生徒の思いや願いをくみ取りながら生徒の共感的理解に基づいた生徒指導・教育相談に取り組む。 不登校生徒対応。（不登校支援プラン）
組織運営	「学びあい、高めあえる」環境づくり。 生徒指導をはじめ生徒対応などに組織的に取り組む。
	特別支援教育の視点を生かした、すべての生徒に分かりやすい学習指導の工夫、授業改善に取り組む。
保護者、地域等 との連携	人権意識、危機管理意識の向上と、様々な教育課題への組織的な対応により家庭、地域に信頼される学校づくりに取り組む。
	コミュニティスクールの活用。地域の組織との連携。 生徒会を中心に地域で活躍できる生徒の育成。